

18連発! 門外不出の【儲けの裏ネタ】大公開

FX大学 常勝トレーダー養成ゼミ 2013 日・米・中【衝撃の景気予測】

13冬 SPA! エン・スパ



18連発!

門外不出の

16 2013 定価980円 臨時増刊  
2012年12月6日発行通巻3347号  
1952年2月23日第3種郵便物認可

【激安不動産】で儲ける裏技

ASEAN 個別株はコレを狙え!

達人おススメ最新株主優待52選

メタルトレード必勝ガイド

人民元で確実に儲ける最強理論

波動理論サイクル分析で【選ぶだけ系】FX自動売買に挑戦!

バイナリーオプションで大勝ちする賢者の理論

別冊付録 世界遺産で金運UP! 投資カレンダー 2013

西原宏一、アンディetc. チャートマイスターがテクニカルを極める!

FX大学

常勝トレーダー養成ゼミ



儲けの裏ネタ 大公開

ビジネスの裏道に精通した猛者だけが知る、最新の錬金術で一攫千金を狙え

表紙の人 南明奈

勝率7割超え! IPOで今こそ勝負だ!!



勝率  
7割  
超え!

# IPOの上

東証マザーズ上場株、事業年数の短いIT関連株etc.  
直近の傾向から導く最新攻略法

不景気下のIPOなんて儲からないし見向きもしない。そんな考えは改めよ！ 最近のIPOはなんと高確率で利益をもたらすというのだ。今まさにチャンス到来、この勢いに乗れ!!

## '12年のIPO株一覧表

コード	上場日	銘柄	市場	主幹事	公募価格	初値
3171	2月22日	マックスバリュ九州	JQS	野村	1250	1300
3172	3月6日	ティーライフ	JQS	野村	510	556
3660	3月8日	アイスタイル	東M	みずほ	840	1630
3173	3月9日	大阪工機	JQS	野村	700	685
3661	3月14日	エムアップ	東M	大和CM	1130	1987
7157	3月15日	ライフネット生命保険	東M	野村	1000	930
6058	3月27日	ベクトル	東M	SBI	1000	1160
3662	4月4日	エイチーム	東M	大和	1080	2923
6059	4月20日	ウチヤマホールディングス	JQS	大和	1480	1421
6060	4月25日	こころネット	JQS	大和	945	1050
6061	4月26日	ユニバーサル園芸社	JQS	大和	1310	1455
6062	4月27日	チャーム・ケア・コーポレーション	JQS	大和	950	1000
2930	5月29日	北の達人コーポレーション	札ア	日本アジア	1100	935
6063	6月20日	日本エマージェンシーアシスタンス	JQS	野村	1100	1400
3174	6月22日	ハピネス・アンド・ディ	JQS	みずほインベ	1900	2202
6618	6月22日	大泉製作所	東M	SBI	350	400
3664	6月26日	モブキャスト	東M	MUMSS	800	2301
6064	7月13日	アクトコール	東M	SBI	1700	2500
9419	7月19日	ワイヤレスゲート	東M	SMBC日興	1200	2311
3665	7月24日	エニグモ	東M	大和	1750	4030
6065	8月7日	サクセスホールディングス	JQS	野村	2050	2500
9201	9月19日	日本航空	東1	大和	3790	3810
3175	9月25日	エー・ピーカンパニー	東M	野村	2350	3305
6067	9月28日	メディアフラッグ	東M	SBI	900	2120
9386	10月4日	日本コンセプト	JQS	野村	1020	938
6069	10月19日	トレンドーズ	東M	大和	2550	6500
3176	10月23日	三洋貿易	東2	MUMSS	460	444
3896	10月23日	阿波製紙	東2	大和	370	371

11/1日現在

「11月頭の時点で、今年12月のIPOは約15社になると言われていました。1か月にこれだけの数のIPOが予想されたのは、'08年3月（13社）以来です。個人投資家を中心に資金の循環が起きており、年末から来年に向けて近年にない盛り上がりになることは間違いないでしょうね（小川氏）」  
「新興企業の上場は主幹事である証券会社がギリギリまで念入りに審査しているケースが多く、ある日突然発表されたりします。今年も最後まで気を抜かず常に情報収集しておくべきですね（西堀氏）」  
「このように活気づくIPO。今からスタートしても決して遅くはない。次ページからは、気になる'13年のトレンドを予想する。」

# 昇気流MAXで 今こそ勝負だ!!



今年も残りあと1か月を切ったものの、国内政局の不安定ぶり&世界経済崩壊の懸念から、相変わらず先行きが不透明な日本経済。そんな状況のなか、少しずつ明るい兆しが見え始めているのがIPOだ。株式会社フィスコのIPO担当アナリスト・小川佳紀氏は、12年を振り返り、このように分析する。

「なによりIPOそのものの数が増えたといいことが明るい材料です。それに加えて、12年は初値が公募価格を上回った銘柄が多かったことが特徴として

て挙げられますね（次ページ表参照）。また、エムアップやエイチーム、エニグモなど、上場後も株価が順調に上昇しているパフォーマンスの優れた会社も多い。初値が天井だった銘柄や、上場したものの鳴かず飛ばずの銘柄が多かった11年に比べると、確実に状況が変化した年だと言えます」

また、IPO銘柄の分析&研究を専門的に行う投資情報サイト『東京IPO』の編集長・西堀敬氏も今年の状況変化を挙げる。

「12年のIPO総数は46社となり、勝率もリーマンショック以降に比べ、格段に上がっています。11月1日現在、28件あったIPOのうち22件は、初値が公募価格を上回り、勝率7割と初値で利益を取れるのはほぼ確実。そして注目したいのは、上場後の成長でも利益を取ることができ、二段構えの投資スタイルを組めるようになってきた。これは、IT企業を中心に、「ひょっとしたら……」という思惑のもと、個人投資家や機関投資家の資金

が流れ始めているからです。明らかに流れは変わった」  
リーマンショック以降、低迷が続いているIPOだが、12年は復活の年だったと言えるかもしれない。  
「今年再上場したJALですが、あれほどの大型株でも初値が割れませんでした。これは現状の地合いが底堅いことを物語っていると思います」（小川氏）  
地合いに加え、西堀氏は投資対象と



西堀敬氏  
新規上場カブサイト「東京IPO」編集長。新規公開企業情報の提供、メールマガジンを発行している。コンサルティング会社でIPOや上場企業の価値創造に携わった経験を持つ



小川佳紀氏  
経済情報を発信する株式会社フィスコ、情報配信部に所属する株式アナリスト。中堅証券会社を経て、現職。中小型株やIPO株の分析から為替相場まで幅広く担当する



鮎川良氏  
株式会社マーケット・ウォーク代表取締役。QUICK社を通じて証券会社にIPOの独自分析レポートを提供。著書に「ダイナミック香港上場 [IPO] 1年間の軌跡」などがある

上昇傾向顕著だった12年。  
13年は大爆発の可能性!!